

ローゼンケーニッヒの単とジェンティルドンナの単

4歳3強、ジェンティルドンナ、フェノーメノ、ゴールドシップの対決。この3頭以外はほぼ圏外。かろうじて武豊騎乗もあって、トーセンラーがどこまで食い込むか、という下馬評である。結局、メディアも評論家もいろいろなことは言っているようでも、結論はこれに尽きている。本当に、これほど定型化、パターン化した予想はないだろう。レース自体は面白いと思うが、事前の予想レースはまったくつまらない。

ただ、私自身は、3強とは思っていない。ジェンティルドンナの1強だと思っている。この馬は、牝馬ながら抜けていると思っている。



さて、実際のレースだが、シルポートが逃げると決まっているので、イメージしやすい。前走の安田記念でビリの18着惨敗だが、逃げ馬に着順は関係ない。

宝塚記念の逃げで思い出すのは、1992年、あっと驚く逃げ切

りを決めたメジロパーマー、そして2008年に同じく逃げ切ったエイシンデピュティだ。もっと逃げ切りがあるように思ったが、この2例だけだから、シルポートの可能性は薄い。馬場、ペース次第でどこまで持つか、ということだろう。

つまり、逃げ切るとは考えづらい。となると、それなら買おうという人間が現れる。



これまで長く競馬をやってきたが、馬券を買う人間は、ほぼ間違いなく「何らかの理由」を見つけ、自分を納得させて馬券を買っている。もし、ガチガチの本命馬を買うなら、買う理由は最強である。なにしろ実績は断然だし、専門家からメディアまで「この馬で間違いない」と言っているからだ。

競馬が面白いのは、買うための理由（データ）をそれこそ山のように提供してくれるからだろう。実績、調教、距離、血統、展開、騎手、馬場、過去の傾向など、挙げればキリがない。

馬券を買う人間は、これらのデータを組み合わせるか、またどれかに絞って買っている。



穴馬ばかり買うという人間もいる。穴馬の場合も、理由がある。シルポートのような馬なら「逃げ切りがあるのでは」という大きな理由がある。雨が降れば、重馬場実績だけで、穴馬を狙うこともある。宝塚記念は梅雨時に行われ、今回も台風による大雨が降る可能性があるから、それを願っている人間もいるだろう。

もちろん、競馬それ自体と関係ない買い方もある。他人の予想に乗る。自分の誕生日の日付で買う。語呂合わせで買う。ラッキーカラーで買う。時事ネタで買うなどだ。2001年の有馬記念「マンハッタンカフェ、アメリカンボス」も、9.11（ナインイレブン）の年なので、「アメリカ馬券」という立派な理由があった。



と、ここまで長々と書いてきたが、結局、「競馬とは理由探しだ」ということが言いたかっただけである。競馬ファンは、1週間（いやそれ以上）かけて、理由を探しているだけに過ぎない。これまで私は、的中したとき、「なぜ、それを買ったのか？」と聞かれて、理由を言えなかった人間を見たことがない。これは、枠番や馬番を勘違いして買ったケースも含めてだ。

というわけで、今回の宝塚記念は、ローゼンケーニッヒの単勝を買う。なぜと聞かれても答えられない。理由なしだからだ。理由なしで馬券を買う。これこそが、私の理想。じつは、本当のギャンブルとはこういうものではないか？と思っている。これは、10年以上前から、ずっとそう思っている。



ただし、ローゼンケーニッヒの10倍の額をジェンティルドンナの単勝に入れます。すいません、こちらは「この馬が最強と信じている」という理由があるからです。申し訳ありません。



第54回宝塚記念 (3歳上・GI・芝2200m・1着賞金13200万円)

- ()内は性齢、騎手・調教師
- 1-01 ヒットザターゲット.
(牡5、福永祐一・加藤敬二)
- 2-02 タニノエポレット.
(牡6、浜中俊・村山明)
- 3-03 フェノーメノ
(牡4、蛸名正義・戸田博文)
- 4-04 ダノンバラード
(牡5、川田将雅・池江泰寿)
- 5-05 シルポート.
(牡8、酒井学・西園正都)
- 6-06 トーセンラー
(牡5、武 豊・藤原英昭)
- 6-07
スマートギア (牡8、松山弘平・佐山優)
- 7-08 ナカヤマナイト.
(牡5、柴田善臣・二ノ宮敬宇)
- 7-09 ローゼンケーニッヒ
(牡4、C.ウィリアムズ・橋口弘次郎)
- 8-10 ゴールドシップ.
(牡4、内田博幸・須貝尚介)
- 8-11 ジェンティルドンナ.
(牡4、岩田康誠・石坂正)